

AIRRECT Ver18.0.0 機能強化

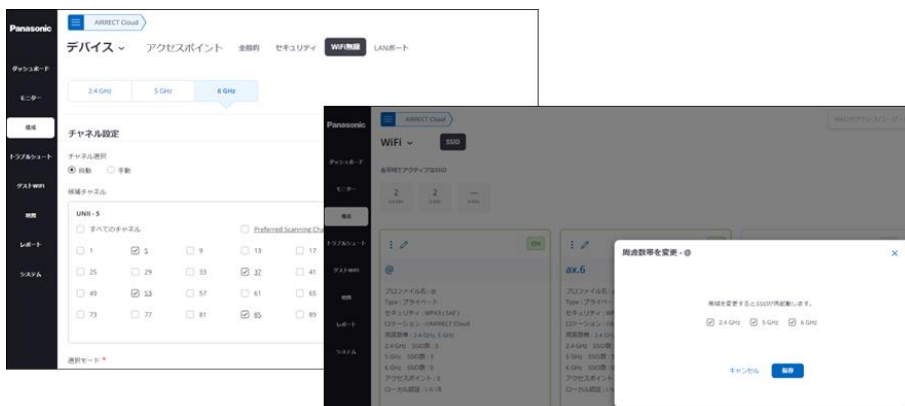
本ドキュメントは Ver18.0.0 での主要な追加機能および仕様変更の概要を記載します。

軽微な機能追加や仕様変更、不具合修正に関しては、リリースノートをご参照ください。

No.	機能
1	AP-6220(Wi-Fi6E 新機種)対応
2	新しいクライアントダッシュボード
3	概要ダッシュボードからマップビューへアクセス
4	ローカル認証
5	ローカルで管理されている MAC アドレスを拒否する
6	VLAN プーリング
7	RADIUS プーリング
8	DHCP リレー
9	SSID 属性のカスタマイズ
10	ワイヤレスパケットキャプチャモード
11	ファームウェアコンプライアンス
12	クライアント接続テスト機能の強化
13	レポート機能の強化
14	ACS/TPS トリガー
15	クラウドサーバーとの時刻同期
16	アラートのデフォルト構成変更
17	SSID 設定変更による影響範囲縮小

1. AP-6220(Wi-Fi 6E 新機種)対応

Wi-Fi6E 対応アクセスポイント「AP-6220」にコントローラー(AIRRECT Cloud)が対応しました。



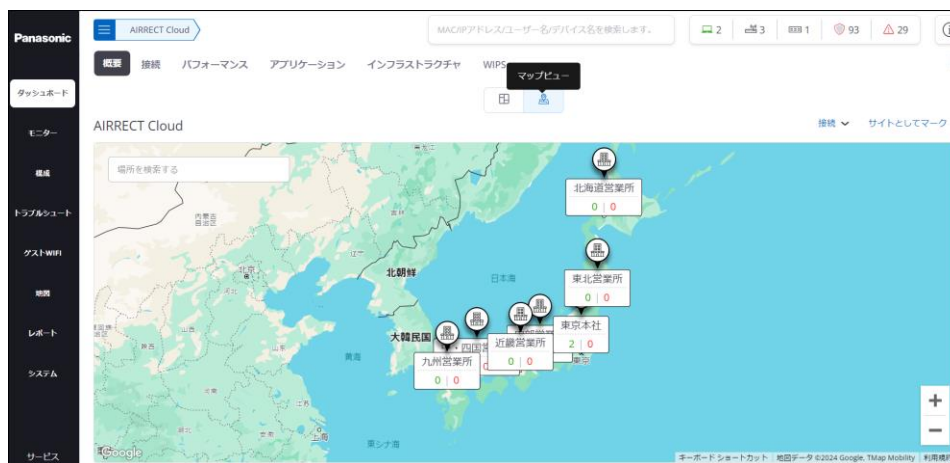
2. 新しいクライアントダッシュボード

クライアントダッシュボードが再設計され、ネットワークパス、通信品質、電波状況、位置情報など、これまで以上に多くの情報を1画面で提供します。



3. 概要ダッシュボードからマップビューへアクセス

概要ダッシュボードから、マップビュー(Google Maps™)へアクセスできるようになりました。



4. ローカル認証

アクセスポイントが認証サーバーに到達できないとき、アクセスポイントが認証サーバーとなって Wi-Fi クライアントを TLS 認証できる "ローカル認証" が追加されました。



5. ローカルで管理されている MAC アドレスを拒否する

ランダム MAC アドレスを使用するユーザーの SSID 接続を拒否できる "ローカルで管理されている MAC アドレスを拒否する" が追加されました。



6. VLAN プーリング

1 つの VLAN に通信が集中することによる輻輳発生リスクを下げるため、通信に使用する VLAN をクライアント単位で分散できる "VLAN プール" が追加されました。



7. RADIUS プーリング

1 つの RADIUS サーバーに通信が集中することによる障害発生のリスクを下げるため、RADIUS 通信に使用する RADIUS サーバーを SSID 単位で分散できる "RADIUS プーリング" が追加されました。



8. DHCP リレー

ブロードキャストドメイン外の DHCP サーバーから IP 情報を取得できる "DHCP パケット転送" が追加されました。



9. SSID 属性のカスタマイズ

SSID の設定内容を拠点(フォルダー)ごとにカスタマイズできる "SSID 属性のカスタマイズ" が追加されました。



10. ワイヤレスパケットキャプチャモード

取得したいワイヤレスパケットをピンポイントでキャプチャできる "キャプチャモード" が追加されました。

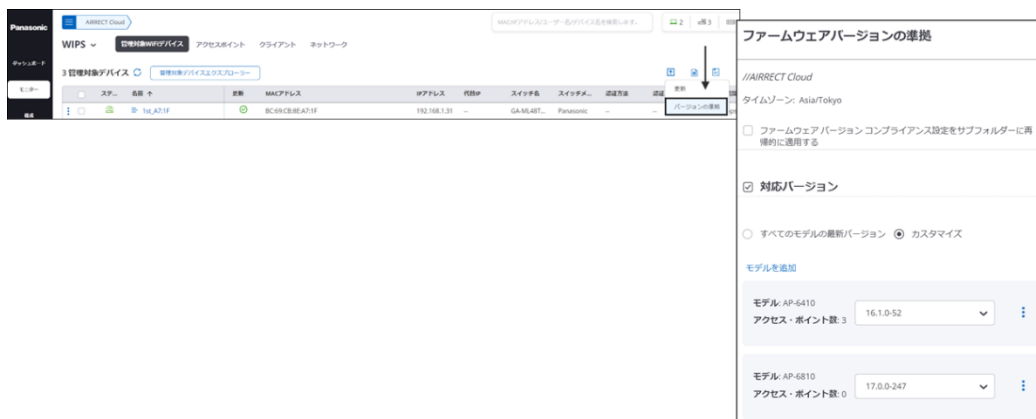
インライン無線アクセスモードは Wi-Fi クライアント通信のみ、無差別アクセスモードはアクセスポイントの動作チャネル、多機能ラジオモードは任意のチャネルをキャプチャします。



11. ファームウェアコンプライアンス

アクセスポイントの品番単位で準拠バージョンを設定できる "ファームウェアコンプライアンス" が追加されました。

コンプライアンスに違反するバージョンで動作するアクセスポイントが検出されたとき、管理者へ通知したり、自動で準拠バージョンへアップデートしたりなどが可能です。



12. クライアント接続テスト機能の強化

クライアント接続テストが "EAP-TLS 認証" と "プロキシ通信" に対応しました。



13. レポート機能の強化

AIRRECT に接続したクライアント情報をレポートする「クライアントアソシエーション」と AIRRECT が観測したクライアント情報をレポートする「クライアント可視化」がスケジュール生成に対応しました。



14. ACS/TPC トリガー

ACS(自動チャンネル選択)とTPC(送信電力制御)を強制的に発生させる "ACS トリガー" と "TPC トリガー" が追加されました。



15. クラウドサーバーとの時刻同期

アクセスポイントが NTP サーバーに到達できないとき、アクセスポイントはクラウドと時刻同期を行います。



16. アラートのデフォルト構成変更

アラート設定のデフォルト構成が変更されました。



17. SSID 設定変更による影響範囲縮小

SSID 設定変更による再起動が SSID 単位から BSSID 単位に変更されました。

